



BEPPU UNIVERSITY

令和3年度

# 卒業生アンケート調査結果報告書

令和4年8月3日

別府大学

## 2021 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 4 回目となる令和 3 年度の卒業生アンケートは 2014 年度、2016 年度、2018 年度、の卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 119 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数とはなりませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

### 卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要な社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

### 1. アンケート実施方法

2021 年度の卒業生アンケートは、2014 年度、2016 年度、2018 年度の卒業生、1,067 名を対象として実施した。

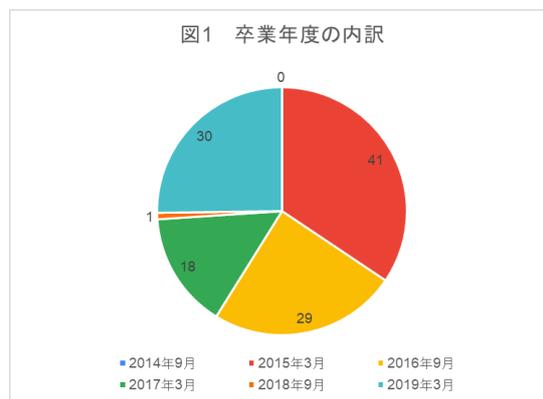
卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 3 年 8 月 3 日（火）～8 月 17 日（火）として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

## 2. 結果

総回答数 119 件を分析の対象とした。

119 件の内訳は 2014 年 9 月卒業生 0 名、2015 年 3 月卒業生 41 名、2016 年 9 月卒業生 2 名、2017 年 3 月卒業生 45 名、2018 年 9 月卒業生 1 名、2019 年 3 月卒業生 30 名であった（図 1）。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表 1 に示した。



学科\年月	2014年9月	2015年3月	2016年9月	2017年3月	2018年9月	2019年3月
国際言語・文化学科	0	8	1	6	1	12
史学・文化財学科	0	15	0	15	0	1
人間関係学科	0	6	0	6	0	5
食物栄養学科	0	6	1	12	0	5
発酵食品学科	0	4	0	6	0	3
国際経営学科	0	2	0	0	0	4

表 1. 6 学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対する学科別の回答比率を集計し、図 2 に示した。学科における学びの満足度ではおおむねすべての学科で、普通まででとどまる傾向があったが、史学・文化財学科、国際経営学科においてわずかながら満足できていないとする回答が見られた。大変満足している、満足しているまでの比率では、食物栄養学科、次いで史学・文化財学科、国際言語・文化学科の順となった。

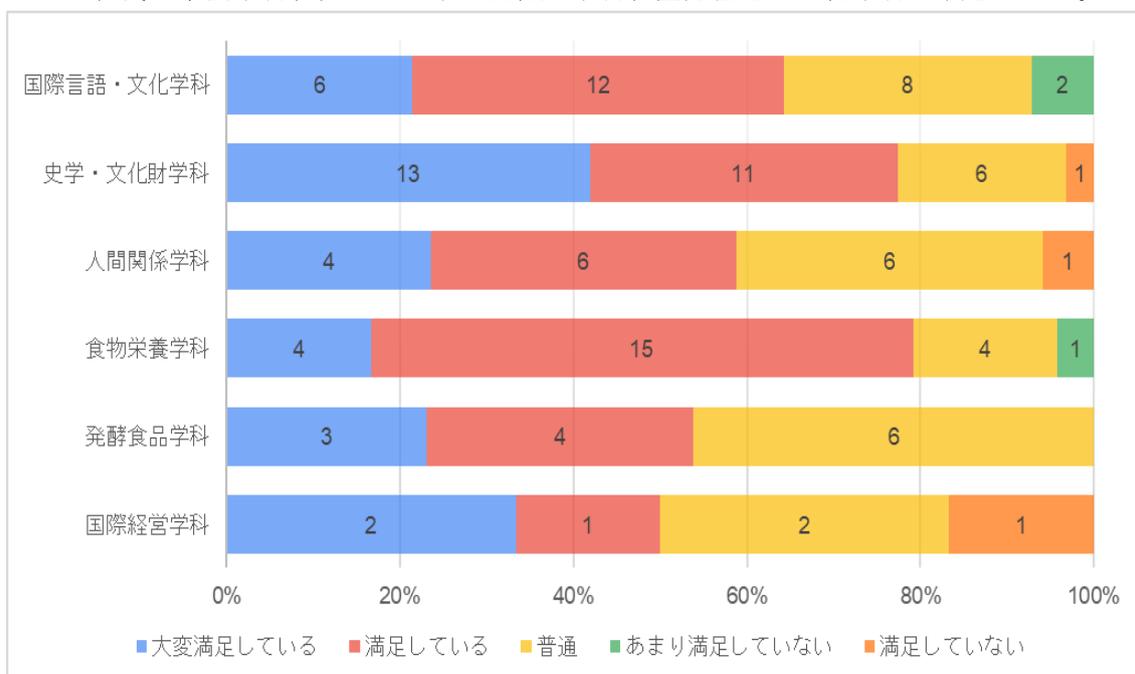


図 2. 「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」

「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、各学科で集計した結果を図3に示した。

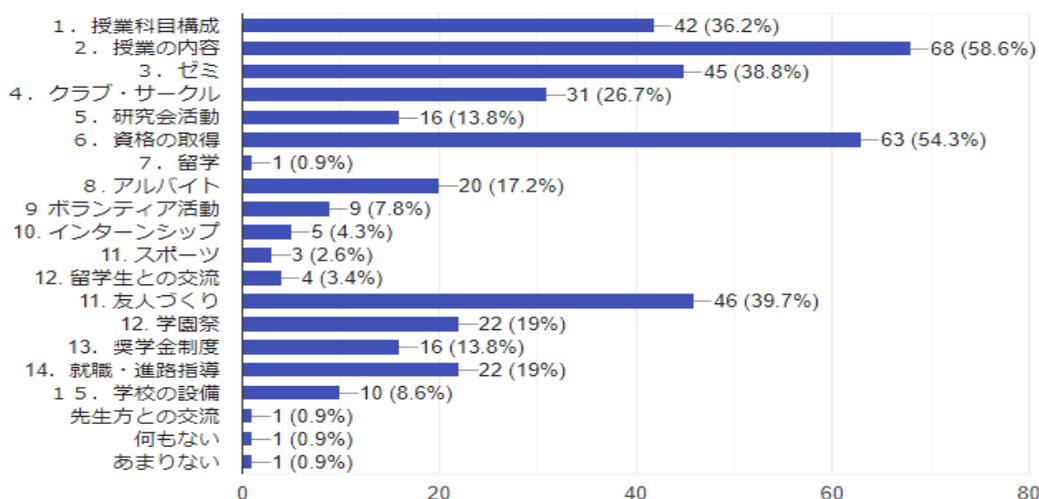


図3. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生の選択した別府大学で学んでよかったところとして、授業の内容が特に多くの卒業生からの選択項目となった。またそれについて、資格の取得や友人づくりなどが選ばれ、次にはゼミが選ばれた。自由回答では、先生方との交流などが挙げられた。

さらに学科別に集計をすると、学科ごとに特徴ある回答が得られた(図4)。国際言語・文化学科では、授業の内容、資格の取得、友人づくりなどを中心として多様な条件の選択が見られた。史学・文化財学科では授業の内容、資格の取得などを中心とする傾向、人間関係学科では授業の内容、資格の取得など、食物栄養学科では資格の取得に特徴がみられた。発酵食品学科と国際経営学科では総回答者数が少ないこともあるが、全体としてこの質問に対する回答選択数が少ない傾向が見られた。

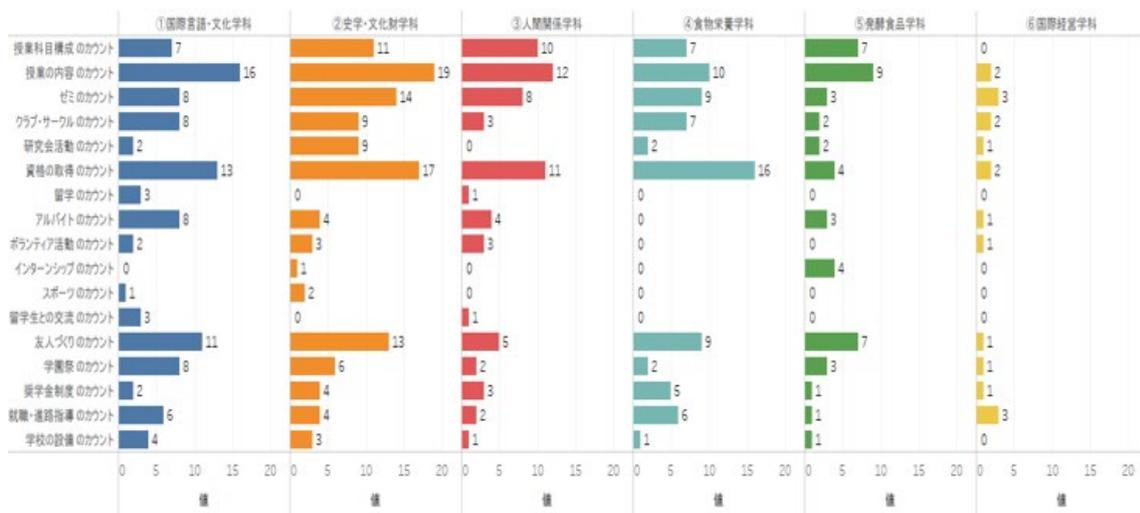


図4. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)」の学科別集計結果

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、全体集計した結果を図5に示した。

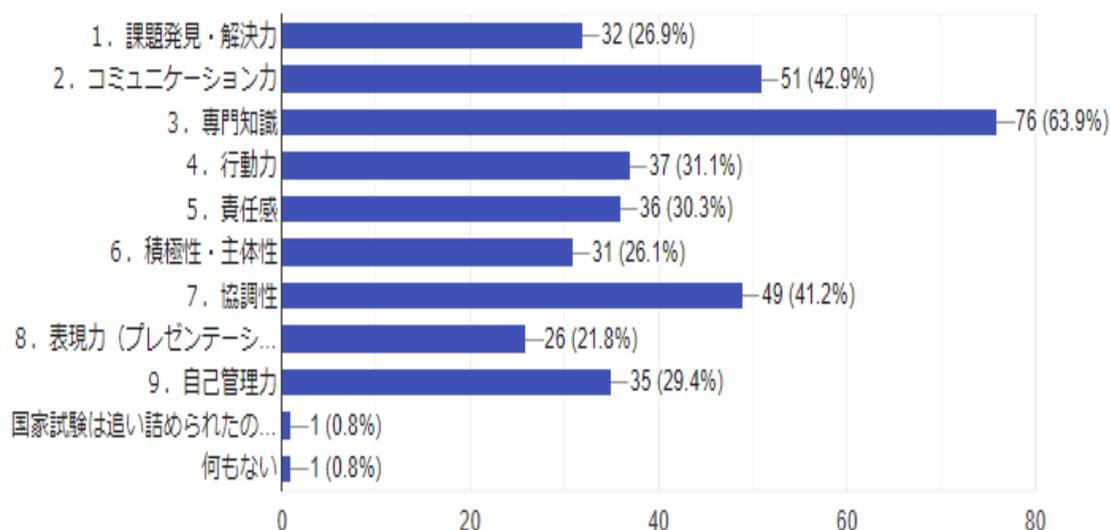


図5. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生の多くは大学の学びにおいて、専門知識に関する知識・能力の向上を認識しているという結果が示された。さらにコミュニケーション能力や協調性といった集団における行動様式の向上が実感されている結果となった。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、学科別に集計した結果を図6に示した。各学科に共通して知識・能力の向上を感じていると多く示された。



図6. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)」の学科別集計結果

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、全体集計の結果を図7に示した。

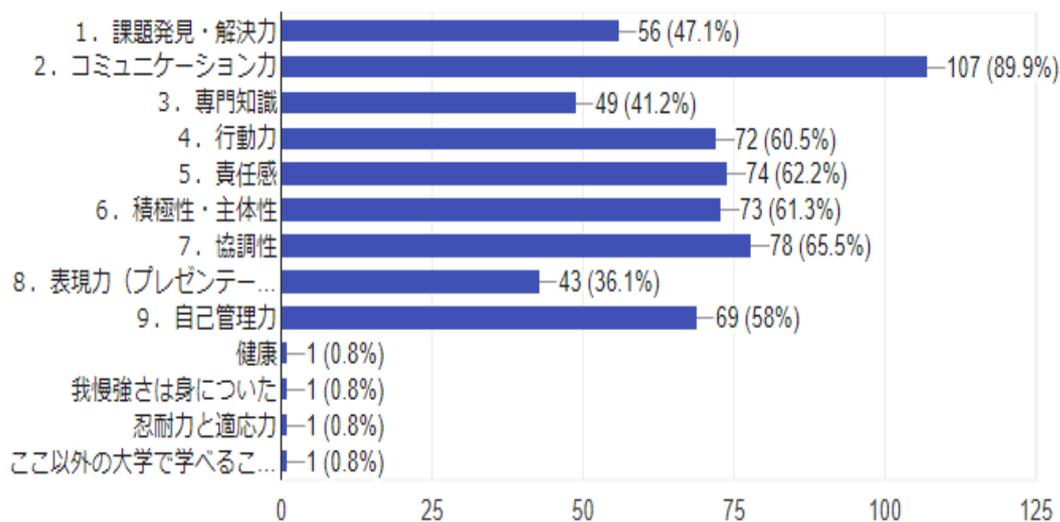


図7. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の全体集計結果

図7では、卒業生は就職してから社会で必要な能力として、コミュニケーション力を第1に挙げ、次いで協調性となっている。また、責任感や積極性・主体性や行動力が重要と考えている。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、学科別集計結果を図8に示した。

図8においても各学科共通で、就職して社会で必要と思われる能力についてはコミュニケーション力や協調性などが挙げられた。

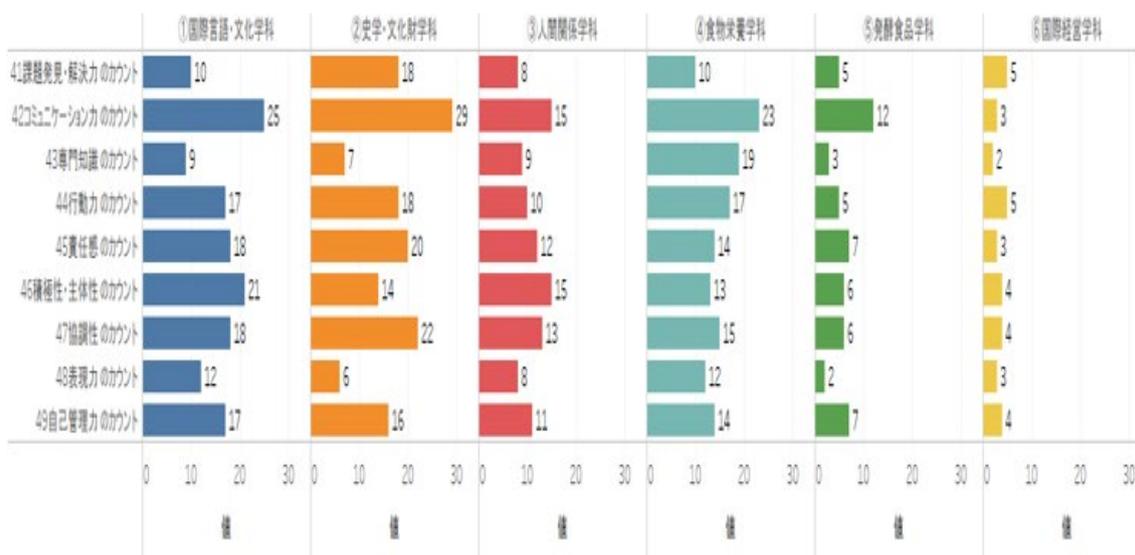


図8. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の学科別集計結果

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」への回答を全体集計したものを図9に示した。

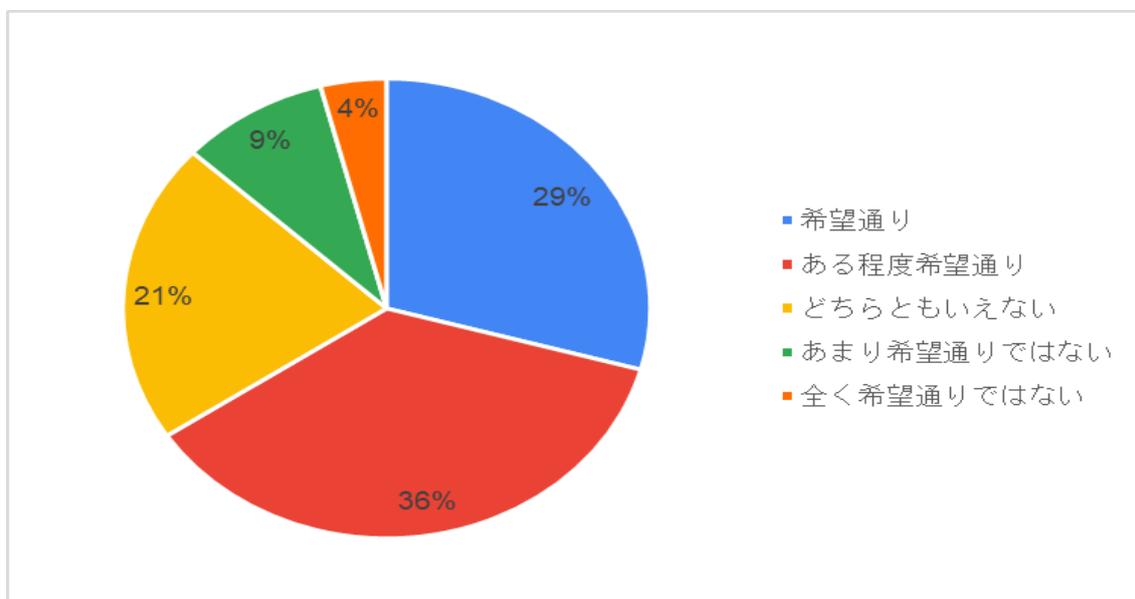


図9. 「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の全体集計

卒業後の進路については、全体の65%の卒業生がある程度希望通りに進路を進めている一方、13%の卒業生で希望通りにはいかなかったとしている。

6. 大学での教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の学びについて（1）～（5）の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答（1）～（5）の集計結果を図10に示した。

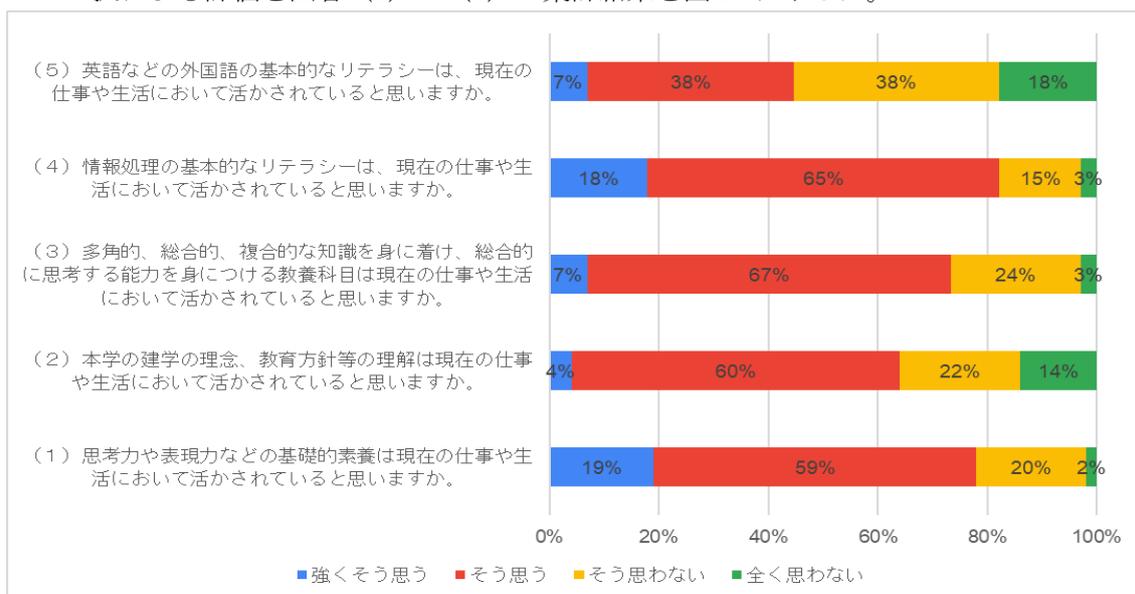


図10. 「6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについての質問」の全体集計

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 19% (23 人)、3. そう思うが 59% (70 人)、2. そう思わないが 20% (24 人)、1. 全く思わないが 2% (2 人) の結果となった。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 4% (5 人)、3. そう思うが 60% (71 人)、2. そう思わないが 22% (26 人)、1. 全く思わないが 14% (17 人) の結果となった。

(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 7% (8 人)、3. そう思うが 67% (80 人)、2. そう思わないが 24% (28 人)、1. 全く思わないが 3% (3 人) の結果となった。

(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 18% (21 人)、3. そう思うが 65% (77 人)、2. そう思わないが 15% (18 人)、1. 全く思わないが 3% (3 人) の結果となった。

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 7% (8 人)、3. そう思うが 38% (45 人)、2. そう思わないが 38% (45 人)、1. 全く思わないが 18% (21 人) の結果となった。

7. 専門力 (専門に関する基本的な知識、技能) の学びについて (1)、(2) の観点について 4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの 4 択による評価を回答 (1)、(2) の集計結果を図 11 に示した。

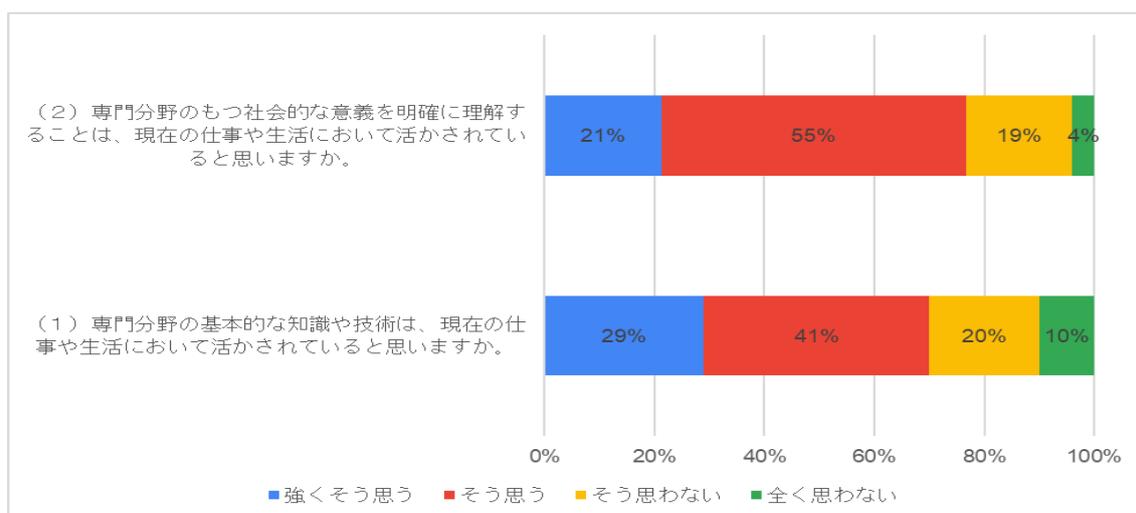


図 11. 「7. 専門力 (専門に関する基本的な知識、技能) の学びについての質問」の全体集計

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 29% (34 人)、3. そう思うが 41% (48 人)、2. そう思わないが 20% (24 人)、1. 全く思わないが 10% (12 人) の結果となった。

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 21% (25 人)、3. そう思うが 55% (66 人)、2. そう思わないが 19% (23 人)、1. 全く思わないが 4% (5 人) の結果となった。

8. 汎用力 (社会で活用できる汎用性のある能力) の学びについて (1) ~ (5) の観点について 4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの 4 択による評価を回答願った。

汎用力の観点は、

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力 (判断力、創造力、企画力などを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力 (主体性、協働力、傾聴力などを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力 (情報収集・分析力、P C スキルなどを含む) は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

として、(1) ~ (5) の集計結果を図 12 に示した。

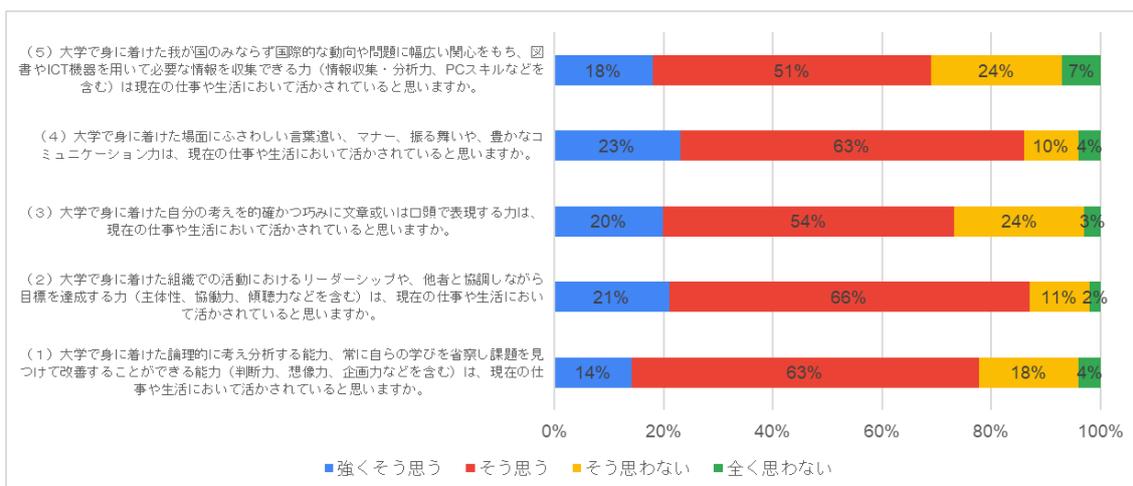


図 12. 「8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて」の全体集計

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）が、現在の仕事や生活において活かされていると思いますかについては4. 強くそう思うが14%（17人）、3. そう思うが63%（75人）、2. そう思わないが18%（22人）、1. 全く思わないが4%（5人）の結果となった。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については4. 強くそう思うが21%（25人）、3. そう思うが66%（79人）、2. そう思わないが11%（13人）、1. 全く思わないが2%（2人）の結果となった。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については4. 強くそう思うが20%（24人）、3. そう思うが54%（64人）、2. そう思わないが24%（28人）、1. 全く思わないが3%（3人）の結果となった。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については4. 強くそう思うが23%（27人）、3. そう思うが63%（75人）、2. そう思わないが10%（12人）、1. 全く思わないが4%（5人）の結果となった。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか、については4. 強くそう思うが18%（22人）、3. そう思うが51%（61人）、2. そう思わないが24%（28人）、1. 全く思わないが7%（8人）の結果となった。

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活において活かされていると思いますか、については、①大いに役立ったが7%（8人）、②役立ったが19%（23人）、③普通が36%（43人）、④役立たなかったが16%（19人）、⑤大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だったが22%（26人）であった（図13）。

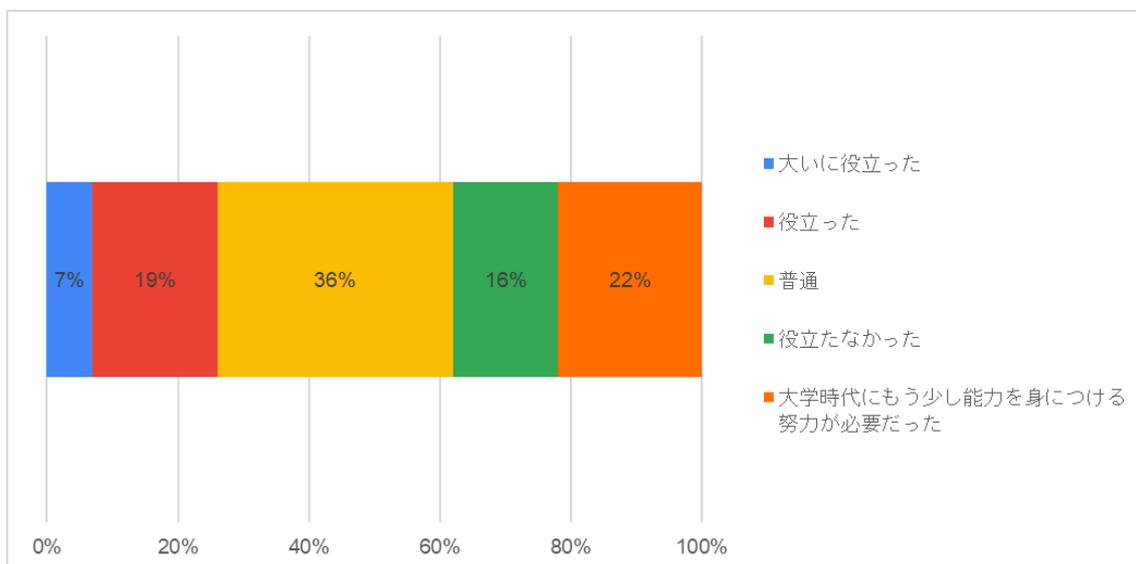


図13. 「9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていると思いますか」の回答割合

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述については資料として、各学科別の学生の成長できたと考える記載を原文のまま掲載している。

傾向として、今回の卒業生アンケートの回答した卒業生の多くは、大学生という時間の中で、それぞれに自己の変化について、文章化できる内容をもって実感できていることが理解できる。

## 考 察

令和3年度のアンケートは2014、2016、2018年度の卒業生1067人を対象に実施された。回答数は119件で、回答率は11%と学科ごとのDP達成度などを測るには十分な標本数にはならなかった。しかし、本学学生の卒業後の意識や動向を把握する意味では貴重なデータであり、今後は回答率の改善に努力しながら継続していくことが重要である。

内訳についてはまず、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いについて、大変満足している、または満足していると回答した者の割合が、食物栄養学科、史学・文化財学科、国際言語・文化学科、人間関係学科、発酵食品学科、国際経営学科の順となった。大半は「満足」を回答する結果となったが、「あまり満足していない」、または「満足していない」とした者がわずかとはいえ国際言語・文化学科で2人、史学・文化財学科、人間関係学科、食物栄養学科、国際経営学科でそれぞれ1人いたことは注目する必要がある。

次に「2. 別府大学で学んだどのようところが良かったのですか（複数回答可）」の質問については、全体としては授業内容が58.6%、資格の取得が54.3%、友人づくりが39.7%、ゼミが38.8%と、これら4項目に多くの者が回答を寄せた。半面、先生方との関わりが0.9%となっており、教員と学生の距離が近い大学としているにもかかわらず、このような回答結果になったことについてはその理由を探る必要があるだろう。

同じ設問に対する学科ごとの集計も行ったが、学科による大きな相違点は回答数の関係もあり、明確なものではなかったが、食物栄養学科における資格の取得への偏りや、逆に発酵食品学科における資格に対する少なさが目立った。

また「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の質問については、全体として、専門知識（63.9%）、コミュニケーション力（42.9%）、協調性（29.4%）であった。学科別の集計では、国際言語・文化学科、史学・文化財学科、人間関係学科、食物栄養学科で「専門知識」が一番多かった。ただ、「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」の質問では専門知識は41.2%と少ない水準となり、この意味するところを慎重に検討する必要があると思われる。その一方でコミュニケーション力が89.9%と圧倒的に高く、協調性（65.5%）、責任感（62.2%）積極性・主体性（61.3%）、行動力（60.5%）、と続き、専門力よりもコミュニケーション力、協調性など汎用性が必要であることを認識したと思われる回答が目立った。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の質問については、希望通りが29%、ある程度希望通りが36%となり、全体の6割が希望に沿った就職ができたと判断できる。あまり希望通りではないが9%、全く希望通りではないが4%で、全体の13%が希望通りでなかったことも、就職の難しさを裏付けるデータとして無視はできないだろう。

現在、第3期中期計画の策定が行われ、2021年末までには策定が完了する見通しであ

る。同中期計画の重点目標には、企業や自治体など人材を求める側から「別府大学は採用したくなる学生を育てている」「別府大学は信頼して仕事を任せうる人を育てている」と評価していただく大学になるために「人間成長実感率 100%」が新たに追加された。重点施策にも「サステイナブルな社会を担う人材を育成」することが追加目標として定められており、「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」でコミュニケーション能力との回答がダントツに多かったことなどを踏まえるとこれからの大学での人材育成が見えてくるように思える。

第3期中期計画では、「入学前から卒業後までのエンロールマネジメントを確立させ、好循環をつくり出す」ことも基本方針の一つとして強調されている。出口戦略とともに卒業生との連携を強化することも含めて連動させた好循環が大学の評価を高めるとしており、そういった観点からも卒業生アンケート調査結果報告書を今後は一段と充実させる必要がある。今回の回答率はわずか11%であり、回答率を高めるためには卒業生との連携をさらに強めるための対策が求められる。

資料

「10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）」

※個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

【国際言語・文化学科】

- ・期日を守って提出すること。
- ・粘り強く取り組む力。
- ・〇〇先生、並びに教職指導の先生方、臨時常勤とはいえ、今は教職就いて満足してます。ありがとうございます！！
- ・任せられたことは責任をもって行わないと周りに迷惑をかけてしまうことを知ったため、責任感を持つ意味と、それに取り組もうとする意識を向ける自己管理能力を持たた。
- ・グループ活動が多かったので、今まで苦手だった人との会話が、少し改善されました。おかげで、上司とも上手く会話ができて、報告、連絡、相談もしやすいので、楽しい社会生活を送れています。
- ・留学にて主体性を持って取り組むことを学べたこと。
- ・別府大学の4年間での学び全てが、自分を大きく成長させてくれたと感じています。現在の仕事に就けたことも、先生方にご指導いただき、職員の皆様に支えていただいたおかげであると大変感謝しております。
- ・一人暮らしを通しての自立
- ・卒業論文を作るに当たってのゼミでの個人発表がとてもメンタル強くなれたと今でも思える。人前で自分の論文を喋ることに最初は抵抗があったが、何度もやるうちに要領が掴めいかに効率的に分かりやすく発表して話すことが大事か、など卒論を通して成長できたと思うことが大変多い。
- ・在学中の私は、自分の将来について希望を持ってない状態でした。しかし、ゼミの担当をしてくださっていた〇〇教授が親身になって、サポートしてくださったおかげで、目標が明確に定まり、就職活動に望めました。希望する職にも内定を頂くことができ、充実した日々を過ごすことが出来ています。二人三脚で歩んでくださった〇〇教授には感謝してもしきれません。
- ・様々な年齢の人と交流することにより、コミュニケーション能力が向上したと共に協調性や主体性が身に付き、成長したかなと思います。
- ・サークルと学祭での活動

【史学・文化財学科】

- ・先生方との交流や、研究会活動。また、学外での社会人の方々との交流(就活など)

- ・史学研究会学生部会で代表をつとめたこと
- ・周囲と助け合いながら課題に取り組んだり、物事を成功させる力を身につけた。
- ・アルバイト、サークル、教育実習
- ・研究室活動
- ・夢米棚田チームでの活動。
- ・自分で図書館で情報収集する力を身に着けた。
- ・自己管理能力は鍛えられたと思います。また様々な人との関わりで、多様性について知ることが出来たと思います。
- ・何もないです、社会人になってから身につけ自分自身の力で成長しました。他の同期の人間は自分より年収が低く、劣悪な環境で働いているみたいです。大変失礼な言い方になりますが、自分の方がしっかりと保障された労働環境、他の同年代の人間よりも高い収入をもらっています。今思うのは、この大学を選んでしまったので大学時代は何も成長出来なかったです。今の自分を支えているのは社会人になって身につけたものばかりですから。大学時代は同じゼミ、学部の人、職員等にいろいろ馬鹿にされていました。もし、今会ったら今度はこっちが心がこなごなになるまで馬鹿にしてやります。
- ・親元を離れ、知り合いが一人も居ない場所での生活は、引っ込み思案な私にとって初め不安しかありませんでしたが、友人にも恵まれ、人生で初めてのアルバイトもすることができ、楽しかった記憶ばかりです。人間関係や、アルバイトの仕事関係にしても、自分から勇気を出して、声をかけてコミュニケーションをとっていくことが、自分が成長したと思う所の一つです。あとは、アルバイトを大学生になって初めて経験して、卒業するまで同じお店で働かせてもらっていました。何回も辞めようと思いましたが、最後までやり続けた経験は、嫌なことがあっても、逃げずに問題点を解決していこうと思うようになり、今の職場でも活かされていると思います。
- ・色んなことに挑戦できるようになった
- ・教育実習
- ・模擬授業の会で何回も授業の練習をして、今の仕事に活かすことができている。ありがとうございました？
- ・教職課程履修当初、高等学校国語教諭になりたかったが取得できない学科であったためやる気にムラがあったが、自分の本当にやるべきことを再認識し、中学校社会科、高等学校地理歴史、高等学校公民の免許を取得したことによって、その後の中学校国語、高等学校国語、小学校教諭の免許取得が円滑に進んだのが良かった。あの時もし教職課程履修を辞めていたら、教員採用試験も受けられなかったため、努力してよかった。現在は教員採用試験にも合格して、高等学校国語教諭にはなれなかったが、宮崎県の小学校教諭として三年目を迎えることができた。本学で社会科の免許を取得したこともあり社会科の授業は校内でも参考にされることが多くなったため非常に誇らしく思いながら感謝をしています。

### 【人間関係学科】

・在学中だけでなく、今でも相談に乗って頂いております。〇〇・〇〇 ご兩名、卒業後も相談に乗って頂きありがとうございます！

・頑張ることです

・文化祭での実行委員長の経験

・人間関係学科では、主に心理学やカウンセリングスキルを学びました。常に、「相手の立場に立つこと」を強く教えられてきました。専門的な場面だけではなく、プライベートや、どの分野の社会へ出たとしても、役に立つスキルとなりました。別府大学で、学んだことは、私にとって、一生の宝物です。

・ノートテイクをしたことで、身体的に不自由な人への配慮の仕方やコミュニケーションのとり方を勉強することができ、人として成長できたと思う。

・アルバイトやサークルでの活動によって自分の表現が世間に通用することを知った。また、消去法によって自分がほんとうにやりたい仕事を炙り出すことができた。

・演習や実習を通じて、自分の意見を相手に伝える力や、他人の事を考えながら行動する力が身についた。

・ゼミ、学科内、サークル等で、育った地域、環境等が異なる多くの方々と出会い、幅広い価値観に触れることができました。また、ゼミ担当の先生という“社会に出ている大人”と身近に話げできたことは、大学生として、社会人としての多くの学びを得ることができました。

・資格の取得

### 【食物栄養学科】

・覚えていない

・ゆけむり健康教室、研究活動、国家試験に向けての勉強

・専門知識の習得

・サークル部長の経験を通して、社会に出たら自分一人で行動しても意味がないこと、周りの人に協力してもらうにはどうしたらいいか、考えて行動するようになりました。

また、積極的に行動することが新しい考え方を見つけられたり、新しい出会いを生むきっかけになって、新しいものに触れることで自分の成長につながるんだと卒業してから思うようになりました。

・健康教室を地域住民へ実施する授業のなかで、専門知識を一般の方へ伝える際の工夫や表現方法を数多く学ぶことができました。当時はみんな未経験で、模索しながらなんとか形にしようとし、とても大変な思いをしましたが、それが現在の仕事につながっています。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。

・国家試験

- ・学祭の実行委員の経験
- ・現場実習による知識と実際の結び付け
- ・授業やゼミにおいて、プレゼンをする力や人前で話すことにおいて特に成長できたと思います。現在の仕事においても、大学時代に身につけたコミュニケーション能力や専門性は大きく活かされています。

#### 【発酵食品学科】

- ・インターンシップでは興味のある多くの事柄を吸収できた。
- ・大学生になってから大幅に人とコミュニケーションがとれるようになりました。
- ・多くの人の前で研究テーマのポスター発表をしたことです。人前に立つことに苦手意識があったため、最初は気持ちが後ろ向きでしたが、失敗せずに分かりやすく伝わるよう事前に練習を積みました。無事本番が終わると、自分の中では達成感を感じ、それが自信に繋がりました。とても良い経験になったと思っています。今でも苦手ではありますが、人前に立ち話すことを避けることは無くなりました。
- ・対応力と自己管理能力
- ・就職活動における行動力。

#### 【国際経営学科】

- ・協調性、人への思いやり
- ・多角的に物事を見る事、判断し物事を決めること

令和3年8月2日

別府大学  
卒業生各位

別府大学  
学長 飯沼 賢司

## 卒業生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

残暑の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様のご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。

さて、本学では、卒業後社会に出られた皆様に、別府大学においての学びについて、ご意見を求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生から、本学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、本学が提供する教育プログラムを改善することを目的に実施するものです。

より多くの皆様のご回答をいただけますよう、お願いいたします。

#### 2. 調査対象

2018年度・2016年度・2014年度卒業生

#### 3. アンケート実施期間

令和3年8月3日（火）～8月17日（火）

#### 4. 回答方法

URL、もしくはQRコードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、ご回答ください。

URL：<https://forms.gle/dGFXPyBTQ9pzGj5X8>



以上

# 2021 年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された年度を教えてください。\*

1. 2018 年 9 月卒業
2. 2019 年 3 月卒業
3. 2016 年 9 月卒業
4. 2017 年 3 月卒業
5. 2014 年 9 月卒業
6. 2015 年 3 月卒業

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。\*

1. 文学部 国際言語・文化学科
2. 文学部 史学・文化財学科
3. 文学部 人間関係学科
4. 食物栄養科学部 食物栄養学科
5. 食物栄養科学部 発酵食品学科
6. 国際経営学部 国際経営学科

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1. 大変満足している
2. 満足している
3. 普通
4. あまり満足していない
5. 満足していない

2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)。

1. 授業科目構成
2. 授業の内容
3. ゼミ
4. クラブ・サークル
5. 研究会活動

6. 資格の取得
7. 留学
8. アルバイト
9. ボランティア活動
10. インターンシップ
11. スポーツ
12. 留学生との交流
11. 友人づくり
12. 学園祭
13. 奨学金制度
14. 就職・進路指導
15. 学校の設備

その他:

3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感
6. 積極性・主体性
7. 協調性
8. 表現力(プレゼンテーション力)
9. 自己管理能力

その他:

4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感

- 6. 積極性・主体性
- 7. 協調性
- 8. 表現力(プレゼンテーション力)
- 9. 自己管理能力

その他:

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

- 1. 希望通り
- 2. ある程度希望通り
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり希望通りではない
- 5. 全く希望通りではない

6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて伺います。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

- 1. 全く思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. 強くそう思う

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

- 1. 全く思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. 強くそう思う

(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

- 1. 全く思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う

4. 強くそう思う

(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

7. 専門(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて伺います。

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて伺います。

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(2) 大学で身に着けた組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働力、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(4) 大学で身につけた場面にふさわしい言葉遣い・マナー・振る舞いや、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強く思う

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

大いに役立った

役立った

普通

役立たなかった

大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

回答を入力



卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。